

白石川右岸河川敷等整備事業

『おおがわら千本桜スポーツパーク』





平成 29 年度

宮城県とのコラボ事業として
白石川右岸河川敷等の整備を開始

**河川敷等整備事業
検討委員会**

**河川敷賑わい
プロジェクトチーム**



令和 2 年度

白石川右岸河川敷等整備事業基本計画

- ・ 水害対策や町民の皆様の健康増進に繋がるスポーツ施設等、子供から高齢者まで楽しめる新たな観光資源を創出することを目的とし、白石川右岸河川敷等に全長約 3 km、面積約 12 haの「おおがわら千本桜スポーツパーク」を整備しました。
(白石川右岸河川敷等整備事業 第1期)



名 称	面 積	おおがわら千本桜スポーツパーク
Aゾーン	約3.0ha	MTBパーク (S-PARK)
Bゾーン	約2.2ha	ドッグラン、親水広場、駐車場
Cゾーン	約1.3ha	パークゴルフ場
Dゾーン	約2.1ha	パークゴルフ場、駐車場
堤防天端	約2.5 ha	おおがわら桜ライン (約2.7km) ～サイクリング・ウォーキングロード～
天端一体 盛土部	約0.8 ha	トイレ、休憩エリア、駐車場 (74台) パークゴルフ場管理施設

『白石川右岸河川敷等整備事業(おおがわら千本桜スポーツパーク)』



3

白石川右岸河川敷等整備事業(第1期整備計画) 【おおがわら千本桜スポーツパーク】

マウンテンバイクパーク



Aゾーン

金ヶ瀬さくら大橋

芝生広場

Bゾーン

親水広場

ドッグラン・駐車場



Cゾーン

パークゴルフ場



管理棟・トイレ
・駐車場

駐車場

サイクリング・ウォーキングロード
おおがわら桜ライン



賑わい交流拠点施設
(第2期整備計画地)

大河原大橋

S-1/7000 (A2)





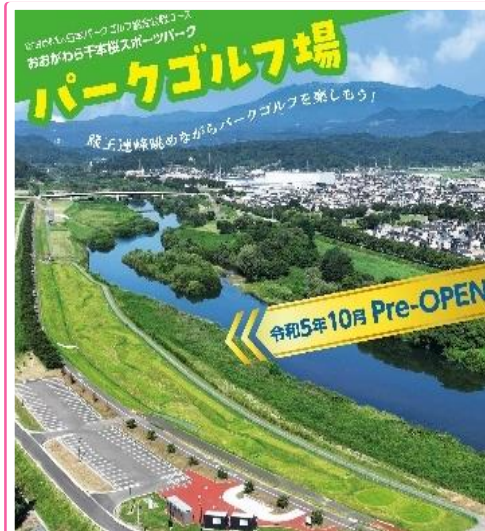
① サイクリング・ウォーキングロード

「みやぎ仙南サイクリングガイド」
のサイクリングコース。
(おおがわら桜ライン約2.7 km)



② OGAWARA MTB S-PARK(スパーク)

MTBプロライダー 井手川 直樹 氏が
デザイン監修を行った、日本初の河
川敷複合型MTBパーク。施設整備に
は、本町初のクラウドファンディン
グを実施。



③ パークゴルフ場

コースは、4コース36ホールで構成。公益社団法人日本パークゴルフ協会の公認コース。



④ ドッグラン

施設は、小中型犬用と中大型犬用の2スペースを設置。

⑤ 芝生広場

デイキャンプやバーベキュー、芋煮会、その他イベント等に使用可能。



宮城県健康寿命ランキング

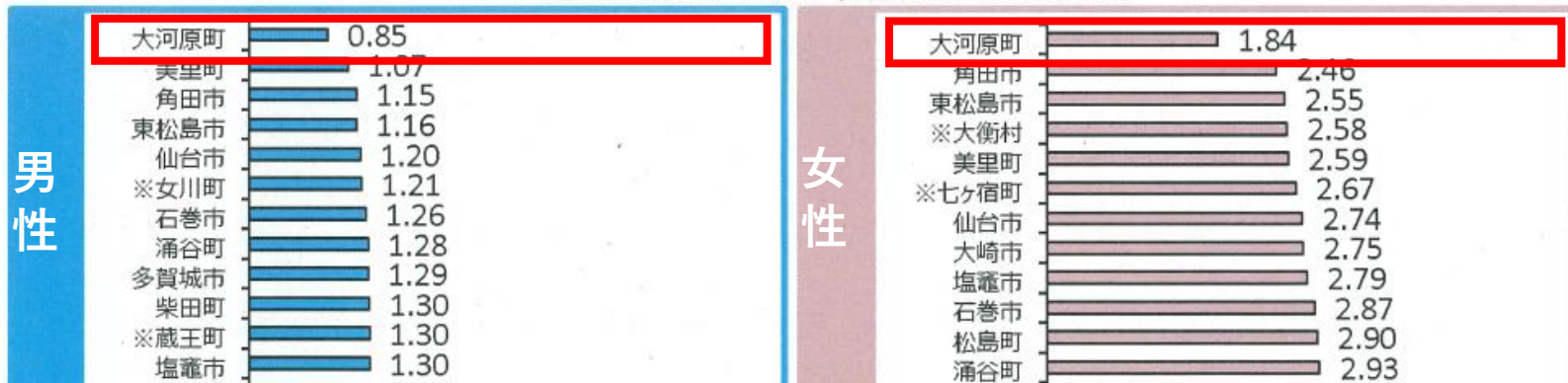
【市町村別の状況】

市町村別健康寿命（令和3年）



「健康寿命」は、高齢者の皆様が介護等を必要とせず支障なく生活を送れる期間。
大河原町の順位は宮城県内 35 市町村中、大河原町は男女共に第 4 位です。

不健康な期間（平均寿命－健康寿命）（令和3年）

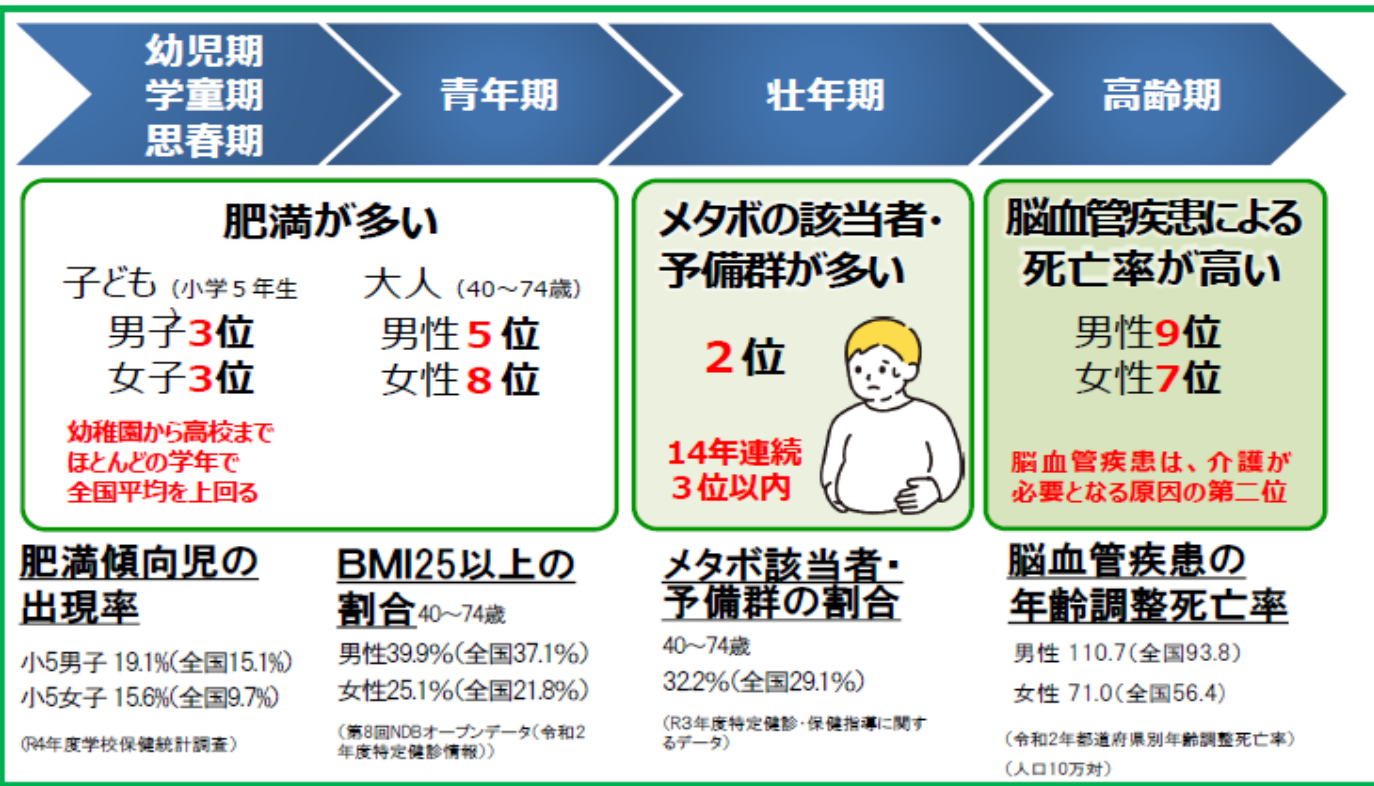


「不健康な期間」は、短いほど良いとされる期間。大河原町の順位は、宮城県内 35 市町村中、男女共に第 1 位で過去の統計でも常に上位をキープしている状況です。これらの良い状況を、今後も維持するための、様々な健康維持に関わる施策としてが必要であると考えております。



県民の健康課題～各ライフステージに課題～

みやぎの健康課題



「県民の健康課題」は、宮城県民の各年代の健康課題。

宮城県民の肥満率の高さが、子供のころから高水準で維持されており、特に「40歳から74歳」においてメタボ該当者とその予備群が、14年連続全国で3位以内に入っている状況です。

このことから、幅広い年代の皆様が利用できる施設を整備するだけでなく、子どもの頃から体を動かすことが習慣化されるような仕組みづくりや、施設整備の工夫が必要と考えています。



白石川右岸河川敷等整備事業（第2期）令和5年度～令和8年度

白石川を「水と桜のレクリエーション軸」に位置づけ、人や地域が「つながる」ことで新たな賑わいや広域的な意味を含めた地域の活性化を目指します。



基本コンセプト

『千本桜を千年先へ ～桜が繋ぐ交流とスポーツの賑わいテラス～』

本町の将来に向けたまちづくりとして、「心身と社会が健康で幸福な状態が継続する **Well-being** なまちづくり」を推進します。

堤内地（田んぼ側）に「賑わい交流拠点施設」を整備します。「賑わい交流拠点施設」は、おおがわら千本桜スポーツパークの利用促進と機能拡充に繋げる施設整備を実施するとともに、植樹100周年を迎えた「一目千本桜」の情報発信や伝承を行うための空間形成と、地域の防災拠点施設の機能を兼ね備えた施設整備を行います。

『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』



9

位置図



賑わい交流拠点施設整備予定地

『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』



10



賑わい交流拠点施設整備予定地

『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』



賑わい交流拠点施設

※施設の内容等に関して変更になる可能性があります。

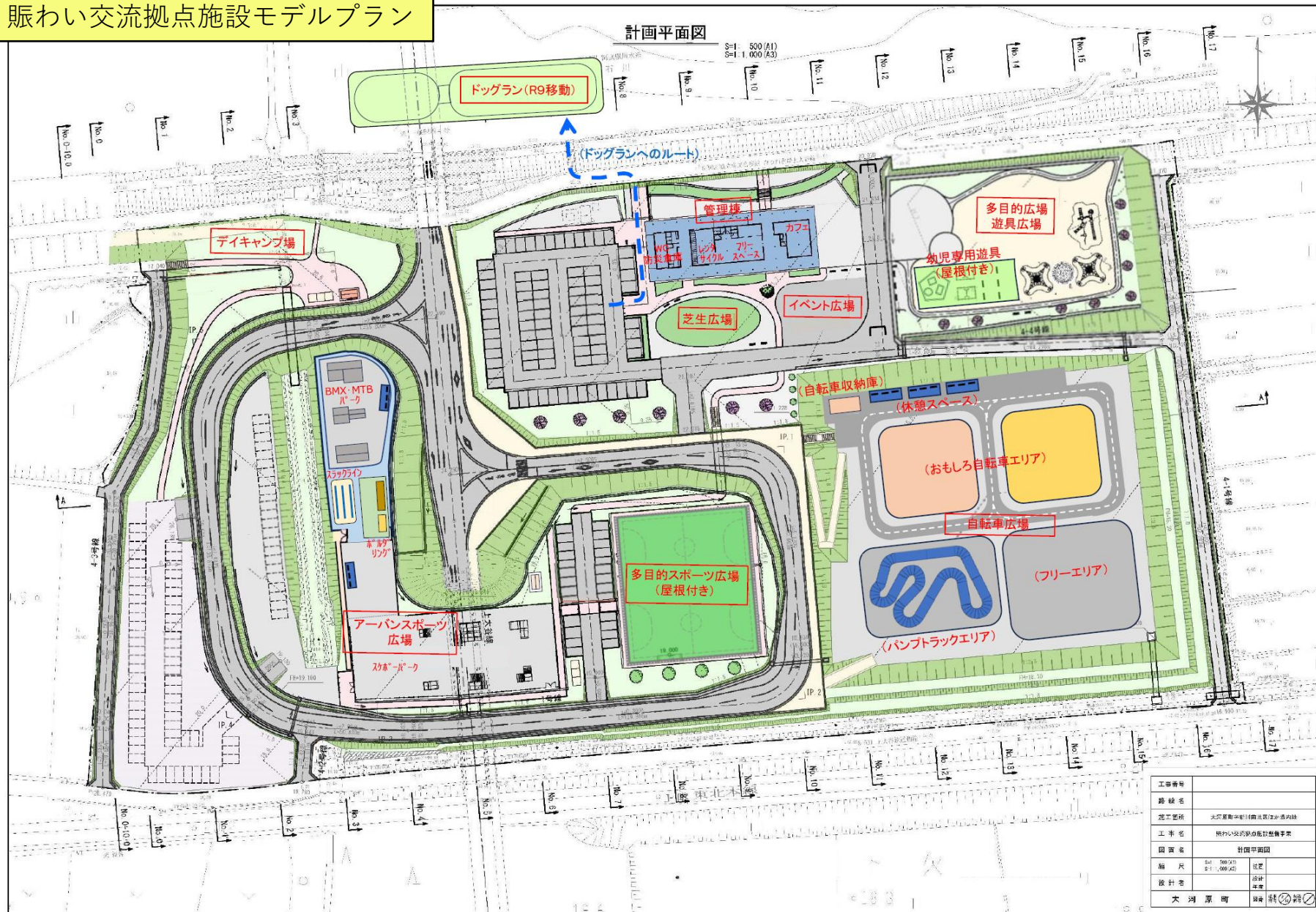
11



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』



賑わい交流拠点施設モデルプラン



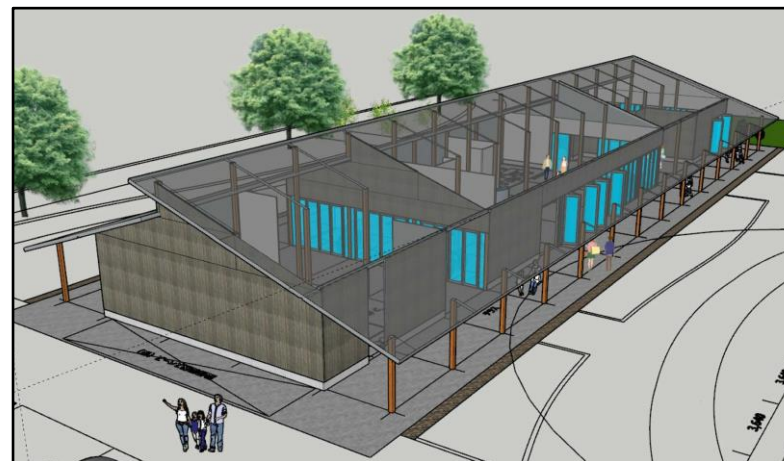
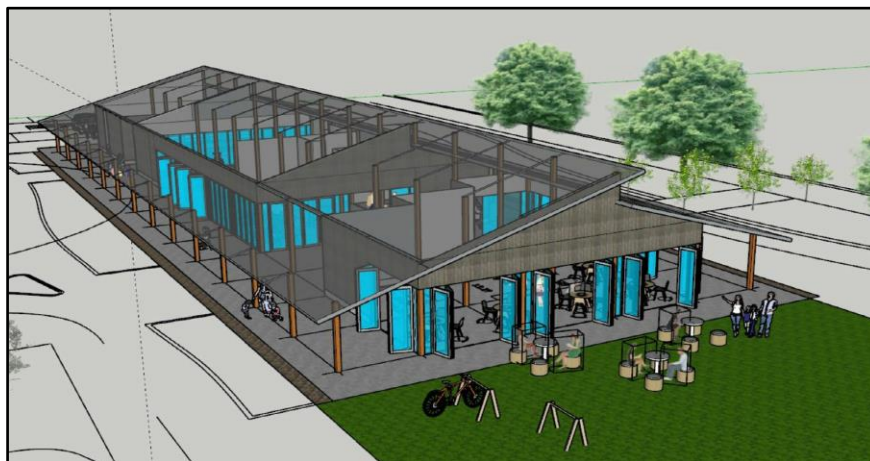
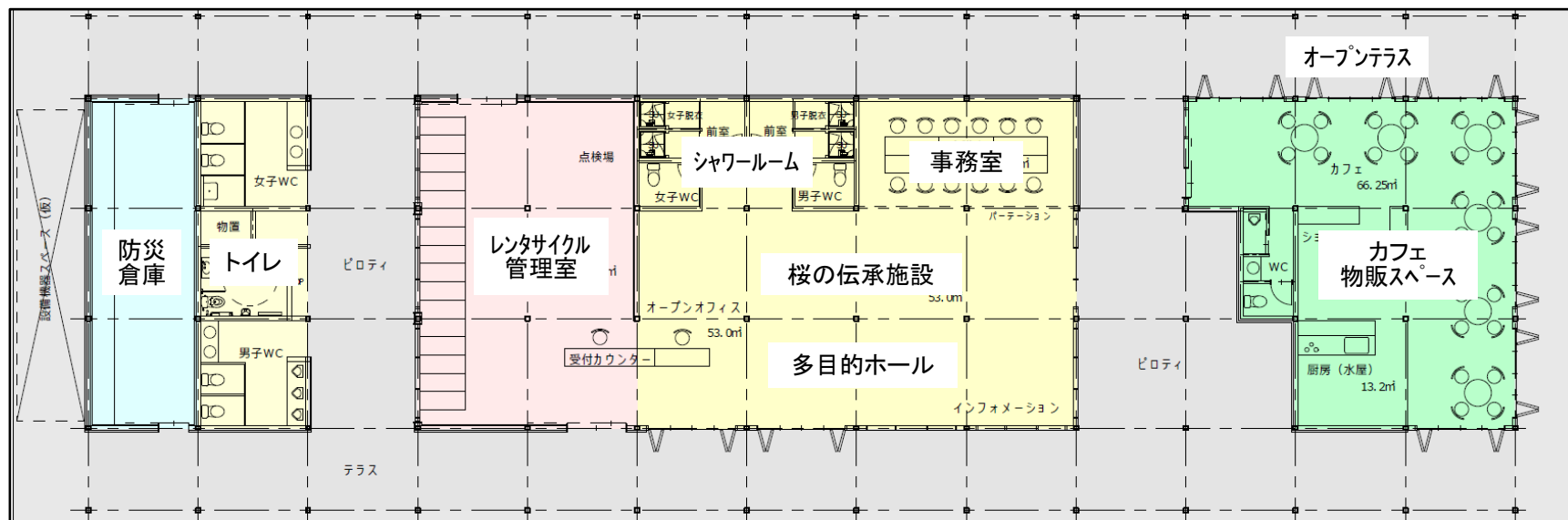
『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』



賑わい交流拠点施設モデルプラン

13

【管理棟イメージ】 カフェ、レンタサイクル管理室、桜の伝承施設、シャワールーム



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』



賑わい交流拠点施設モデルプラン

14

【管理棟イメージ】 カフェ、レンタサイクル、桜の伝承施設、シャワールーム、防災備蓄倉庫



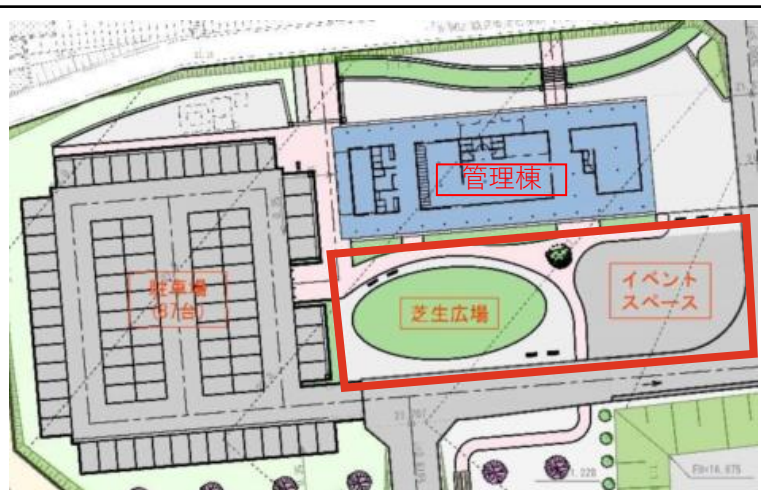
『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』



15

賑わい交流拠点施設モデルプラン

【イベントスペース・芝生広場イメージ】 キッチンカー等設営スペース

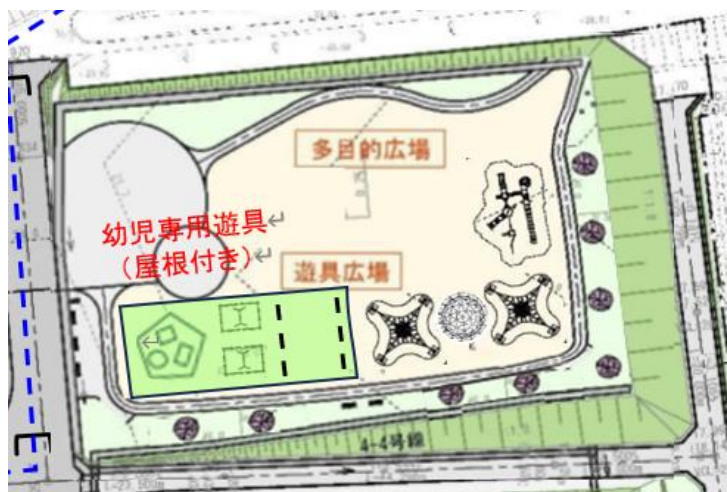


・週末やイベント開催時にキッチンカー等の出店スペースとして利用。出店者用の給水施設を設置。



賑わい交流拠点施設モデルプラン

【多目的広場・遊具広場イメージ】



- ・屋根付きの幼児専用遊具と休憩スペースを整備。
- ・休憩スペースは遊具広場全体の休憩場所として利用。
- ・屋根下には暑さ対策としてミストシャワー等設置。



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』



賑わい交流拠点施設モデルプラン

【多目的スポーツ広場イメージ】

17



- ・フットサルコート2面分に屋根を設置し、全天候型の運動施設とする。
- ・床をハードコートで施工し、3×3やバスケットボール、フットサル、テニス等、各種運動施設として幅広い利用に対応する。
- ・様々なスポーツだけでなく、イベントや町の事業等でも利用可能とする。

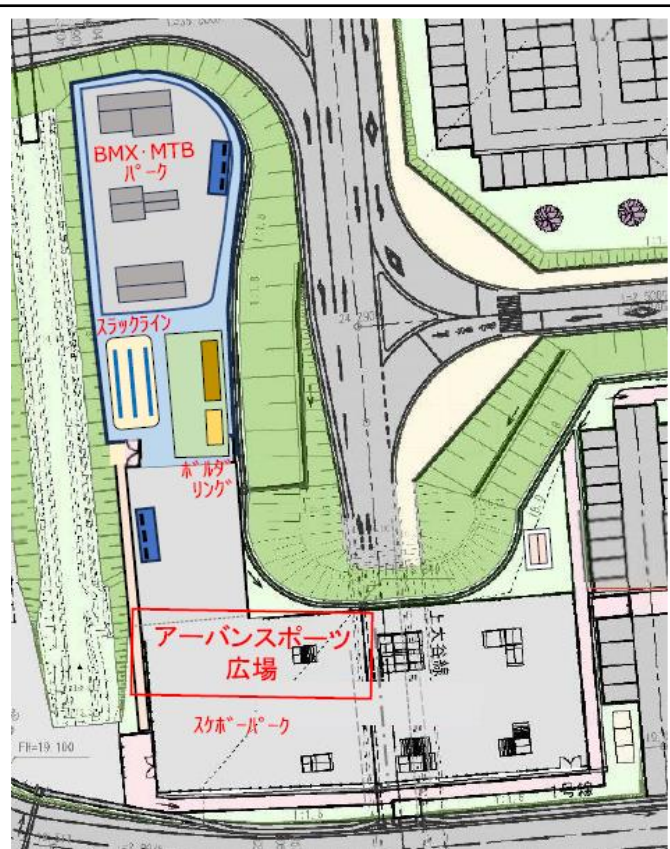


『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』



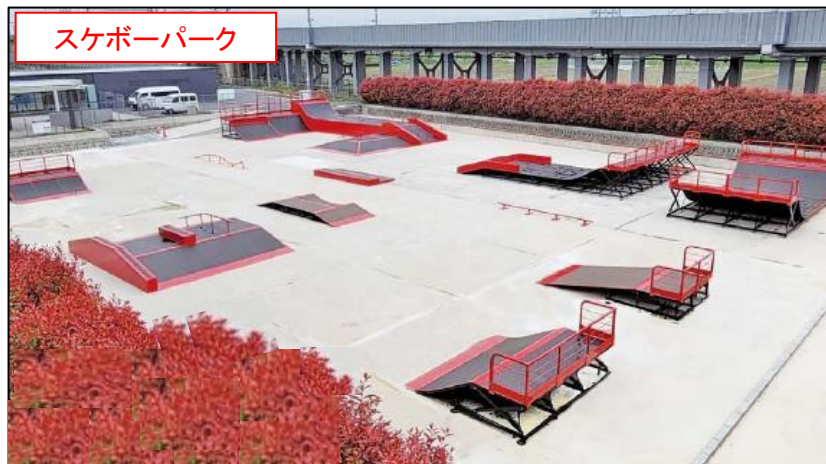
賑わい交流拠点施設モデルプラン

【アーバンスポーツ広場イメージ】



- ・様々なアーバンスポーツ(スケートボード、BMX、ボルダリング、スラックライン等)を体験できる「アーバンスポーツ広場」として整備。
- ・各施設共に、初心者から上級者まで幅広いレベルの方が気軽に利用でき、イベントや学校の開催も考慮した整備を行う。

スケボーパーク



ボルダリング



スラックライン



BMX・MTBパーク



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』



19

賑わい交流拠点施設モデルプラン

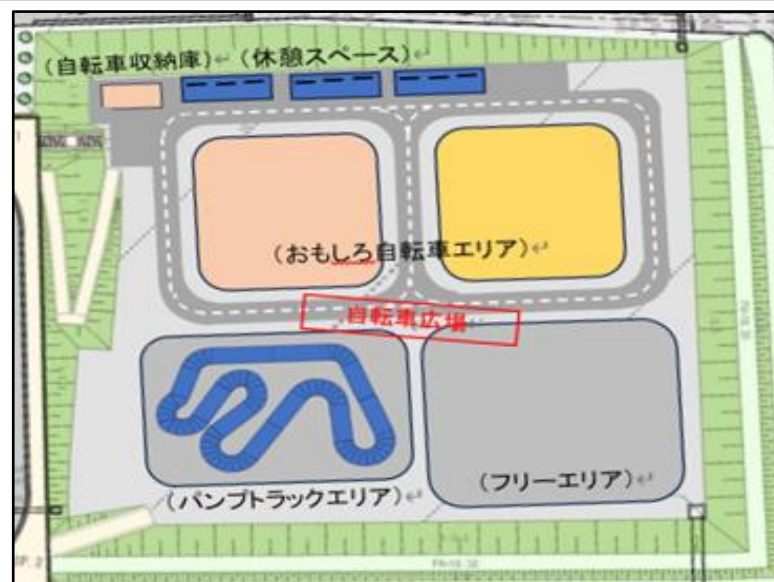
【デイキャンプ場イメージ】



- ・各区画ごとにテーブルや椅子等を整備し、エリア内にはトイレ棟や洗い場を整備。バーベキュー用具のレンタルや食材の販売等を行う。



【調整池（おもしろ自転車エリア）】



- ・様々な種類の自転車に乗れる「おもしろ自転車エリア」を整備する。
- ・起伏あるコース走行を体験できる「パンptrack」や、自転車の練習、イベント等、様々な利用を想定した「フリーエリア」を整備する。





アーバンスポーツ

（アーバン ＝ 都市の、都市的な）

主なアーバンスポーツ：
スケートボード、3×3、フットサル、BMX、
ボルダリング、スラックライン、パルクール等

若者のスポーツ離れ対策や健全な育成支援、国民の健康増進に貢献することを目的として、JOC（日本オリンピック委員会）は、若者に人気のあるスポーツとしてアーバンスポーツを普及、推進している。



2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、若者に人気のあるスケートボード、3×3、BMX、スポーツクライミング、サーフィンが採用された。

アーバンスポーツは、町中の道路や広場での遊びから生まれたスポーツで、音楽、ファッション、アート等、遊び感覚の高い若者文化と融合し、「楽しさ」や「ゲーム的要素」が多く含まれており、勝敗や順位よりも競技を純粋に楽しむスポーツとして若者を中心に広く受け入れられている人気のスポーツ種目になっている。

アーバンスポーツを活用した町づくりや観光資源づくりに市町村や県が取り組み、地域経済の活性化を図る事例が増加



賑わい交流拠点施設の整備手法

令和4年度

「賑わい交流拠点施設」の整備において、たくさんの皆様にご利用いただくために、施設内容や施設の活用方法等について、民間企業への調査（サウンディング調査）を実施。

令和5年度

サウンディング調査の結果から「賑わい交流拠点施設」の整備について、民間活力の導入を視野に入れ、官民連携手法導入可能性調査を実施。



官民連携手法を導入した施設整備・管理運営が有効

（官民連携手法導入のメリット）

施設整備
内容の充実

千本桜
スポーツパークとの
一体的な管理運営

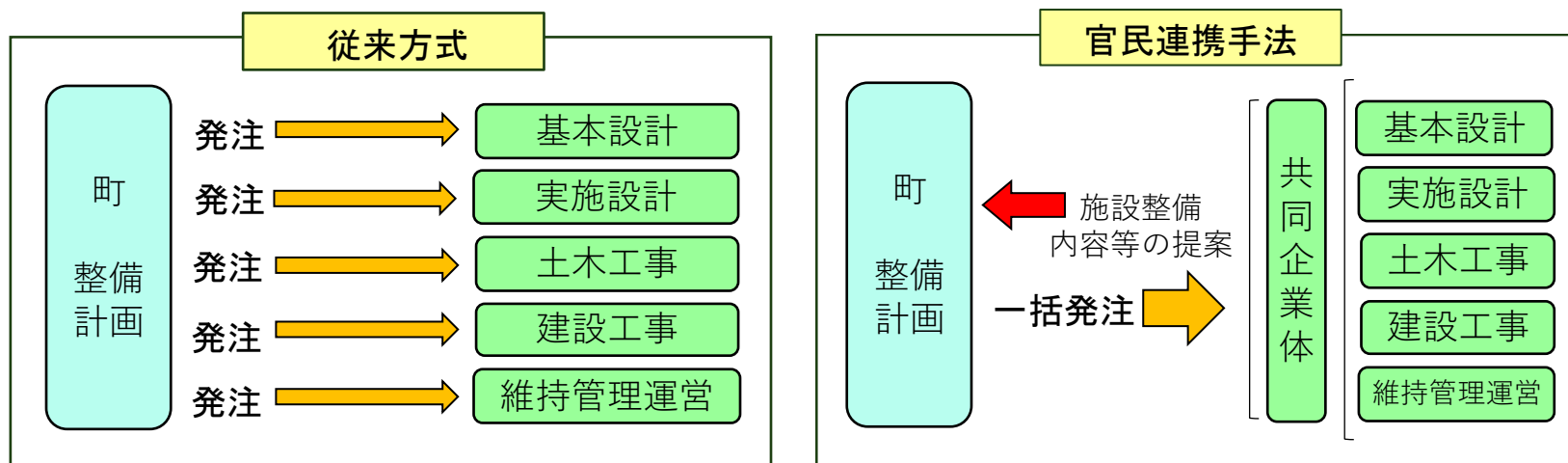
施設整備費
の縮減



官民連携手法導入可能性調査の結果

本事業の実現のためのスキームを検討するとともに、民間事業者への意向調査や住民懇談会、アンケート調査等を反映した **モデルプラン** を作成し、施設整備費や維持管理・運営費の概算事業費を算定。これを基に、経済性において従来手法と官民連携手法を比較し、町の費用負担の縮減効果の評価を実施。

VFM (官民連携手法による費用負担の縮減効果)	BTO方式(官民連携手法)	VFMが発生したため、従来手法に比べ官民連携手法が有効と判断
	DBO方式(官民連携手法)	
交付金	社会資本整備総合交付金	交付率50%



管理棟カフェスペース	設置管理許可制度	町が整備したカフェスペース(約100㎡で 軽食程度を提供するカフェをイメージ)を運営者に貸出し、収益事業を行ってもらう(独立採算)。
------------	----------	--



今後のスケジュール

※工事や関係機関協議などの進捗状況により、スケジュールや内容が変更になる可能性があります。

23

令和6年度¹¹

- ・盛土造成工事及び取付け道路整備（R6～R7）
- ・官民連携手法による整備・維持管理・運営業務への参画事業者募集（R6～R7）
※要求水準書及び募集要項の作成、公表。

令和7年度¹¹

- ・盛土造成工事及び取付け道路整備（R6～R7）
- ・官民連携手法による整備・維持管理・運営業務への参画事業者募集（R6～R7）
※参画事業者の募集及び選定、事業契約。

令和8年度¹¹

- ・官民連携手法による施設整備（スポーツ施設整備、交流施設建築等 R8～R9）

令和9年度¹¹

- ・官民連携手法による施設整備（スポーツ施設整備、交流施設建築等 R8～R9）

令和10年度¹¹

- ・賑わい交流拠点施設オープン

盛土造成工事状況





整備に関する問い合わせ先

大河原町役場地域整備課都市計画係

連絡先：0224-53-2445

